

平成 24 年 12 月 1 2 日

南の風 23

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

横浜バスケットボールフェスティバルが23日（日）に横浜文化体育館で行われます。ミニから高校までの選抜選手が一堂に会し、ゲームを通して技術の交流をし合うことはたいへん意義あることだと思います。また、指導者の交流の場としても貴重な役割を果たしています。チーム関係者の皆様、是非文化体育館でご覧になってください。

さて、南部連盟ではそのフェスティバルに向けて練習会を2回行いました。私も参加させてもらいました。その時の感想を書いてみます。

まずは、南部連盟の選抜選手の皆さん、南部連盟の技術委員会の皆様、レフリー等でご助力いただきましたチーム関係者の皆様、そして保護者会の皆様、寒い中ご協力いただきましてありがとうございました。季節から体調を崩し欠席する選手もいましたが、ほとんどの選手が2回の強化練習会に参加することができました。当日のゲームが楽しみです。

改めて練習会の目的を考えてみます。（あくまで私見です。）

- 1 フェスティバル出場に向けての代表チームの強化
- 2 有望選手の強化育成（中学への橋渡しも視野に入れる）
- 3 南部連盟としての基礎・基本の全チームの共有化

1については、当たり前と言えば当たりの前のことです。選抜選手は、一人ひとりが南部を代表する選手です。それぞれが優れたスキルやメンタルを持っています。しかし、如何に一人ひとりが優れていても、チームとして機能しなければ戦力とはなりません。技術委員の方々は、少ない練習会の中で選手の実態を踏まえ、戦略・戦術を練り、フェスティバルに向けて準備されています。やはりゲームをする以上は、勝たなくてはなりません。昨年は男女とも残念な結果になってしまいました。今年はぜひよい結果が残せるように頑張ってもらいたいと思います。因みに今年の対戦相手は、男女とも中部連盟です。

2については、有望選手の発掘と中学への橋渡しをしていくということです。選抜選手の中でも将来有望な選手を把握して、中学校への引き継ぎをしていくことも我々の責務だと思います。

3については（実はこれが重要だと私は思っています。）、南部連盟に所属している選手全員が正しい基礎・基本をつけるための一つの取り組みだと思っています。もちろん、南部連盟で行っている技術講習会がメインの位置づけとなりますが、この選抜選手の練習会も「基礎・基本の共有化」に大きな役割を果たすものだと考えます。**基礎・基本**と言いますが、基礎とはスキルを支える身体づくりです。南の風に何回か書きましたが、ミニバス時代は特に調整力を十分につけてほしい年代です。南の風Ⅱ号に乗せた、コーディネイティブ能力もその一つです。バランスのいい身体、怪我しにくい身体をつくるのがミニバス選手の今後のキャリアを考えた時に大切になります。そして基本とは、正しいボールハンドリング、シュート、パス、ドリブル、動きづくりなどになります。

技術委員の皆さんが、練習会を通して基本のスキルを選抜選手に指導していただきました。こういった基本スキルを、南部全体に広めていけたらと思っています。